

ケーブル・アワード 2024 第17回ベストプロモーション大賞 グランプリはケーブルメディアワイワイ（宮崎県）に！

一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟（理事長 今林顯一 東京都中央区）と株式会社イード（代表取締役 宮川洋 東京都中野区）は、全国のケーブルテレビ事業者による優れたプロモーションや地域コミュニケーションの活動を顕彰し、共有することを目的に「ケーブル・アワードベストプロモーション大賞」を開催しています。

ベストプロモーション大賞は3つの部門から成っており、今年はチラシ部門42作品、映像部門29作品、グッドプラクティス部門47作品、合計118作品の応募がございました。4月末の予備審査を経た54作品から6月に本審査を行い各賞が選定され、本日7月18日（木）、当連盟が主催する「ケーブルコンベンション 2024」の会場である東京国際フォーラムにおいて贈賞式を行い、グランプリをはじめとする各賞を発表しました。

最高評価となるグランプリは、（株）ケーブルメディアワイワイによる『映像クリエイターレジデンスプログラム「Connect & Create NOBEOKA」（通称：コネクリ延岡） 全国のクリエイターが延岡で市民と”コネクリ”ながら映像制作』（グッドプラクティス部門応募作品）の取り組みが受賞しました。

全国から映像クリエイターを募集し、市民と共に延岡を舞台にした映像制作を実施。地域活性化と同時に地域プロモーションを狙った取り組みは、同社が延岡駅前に設けた映像エンターテイメントで市民が集うスペース「waiwai PLAY LAB」を拠点に展開されています。ケーブルテレビのメインストリームである映像メディアとしての存在を示す取り組みとして、審査員全員が一致して高く評価しました。



【別紙1】受賞13作品

【別紙2】主な受賞作品のご案内

～本件に関するお問合せは下記までお願いいたします～

一般社団法人 日本ケーブルテレビ連盟 < <https://www.catv-jcta.jp/> >

コンテンツ&HR推進部 担当：中田・渡邊

TEL: 03-3566-8200 / FAX: 03-3566-8201 / E-mail: jcta_contents-lab@catv-jcta.jp



ケーブル・アワード 2024

第17回 ベストプロモーション大賞

受賞 13 作品 (1 作品重複受賞あり)

賞名	部門	事業者名	作品名
グランプリ	グッドプラクティス	(株)ケーブルメディアワイワイ	映像クリエイターレジデンスプログラム 「Connect & Create NOBEOKA」(略称:コネクリ延岡) 全国のクリエイターが延岡で市民と“コネクリ”ながら映像制作
準グランプリ	グッドプラクティス	射水ケーブルネットワーク(株)	人流ビッグデータの活用で地域の見える化を実現!
	映像	(株)ケーブルテレビ富山	「ケーブルテレビはテレビだけじゃない! ネットもスマホもケーブルテレビ!」編 「ネットもスマホもサクサクキャンペーン」編
特別賞	チラシ	(株)ケーブルメディア四国	台風の備えに、アンテナ不要のピカラ光てれび byCMS
	グッドプラクティス	笠岡放送(株)	アプリ「ゆめのわ」を活用した地域連携の促進と 情報循環の加速による自社とエリアの活性化
	グッドプラクティス	Kビジョン(株)	文化の木を育てる
ケーブル・チョイス賞	映像	(株)キャッチネットワーク	これからは、「近い」で選ぶ インターネットならキャッチ
RBB TODAY 賞	映像	JCOM(株)	J:COM TVCM「ヨシタカ先生」シリーズ
優秀賞	チラシ	(株)ハートネットワーク	地域の雇用創出と広告戦略の拡大 えひめ東予企業情報誌 Search104 (サーチ東予)
		ひまわりネットワーク(株)	「発掘バトル どうやバイ店に行ってみりん」 YouTube QR コード誘導ポスター
	映像	(株)キャッチネットワーク	これからは、「近い」で選ぶ インターネットならキャッチ
		(株)Goolight	須坂高校 100 周年記念事業 「The Spirit-未来へ紡ぐ 15 の物語-」
	グッドプラクティス	(株)テレビ松本ケーブルビジョン	槍ヶ岳高精細 4K 常時中継システム
		CCNet(株) (株)コミュニティネットワークセンター	岐阜県白川町・名古屋市立大学経済学部・CNCI グループの 産官学連携による地域課題の解決

※ 1 特別賞

審査員が審査会での選考過程において、特段に賞を贈りたいと思われた作品を選定

※ 2 ケーブル・チョイス賞

ケーブルテレビ事業者および関係者による WEB 投票を行い、その集計結果に基づき選定。

※ 3 RBB TODAY 賞

(株)イードが運営するブロードバンド情報サイト RBB TODAY で一般投票を行い、その集計結果に基づき選定。

これらの受賞作品の詳細および審査員の講評は、下記のケーブル・アワード 2024 第 17 回ベストプロモーション大賞のホームページで公開しております。

◆ケーブル・アワード 2024 第 17 回 ベストプロモーション大賞 URL

https://www.catv-jcta.jp/p/catv_award/2024/index.html

<主な受賞作品の紹介> ※<作品リンク>をクリックすると、各作品を閲覧できます。

グランプリ 株式会社ケーブルメディアワイワイ（九州支部・宮崎県）

『映像クリエイターレジデンスプログラム「Connect & Create NOBEOKA」（通称：コネクリ延岡）

全国のクリエイターが延岡で市民と“コネクリ”ながら映像制作』 <グッドプラクティス部門>



全国から公募で選ばれた映像クリエイターが約 1.5 ヶ月に渡って延岡市に滞在しながら映像を制作。映画監督上田慎一郎氏をメンターに迎え、企画段階からアドバイスを受けられるプログラム。

滞在地や制作機材・環境などの支援に加え、ロケ地・キャストで市民が協力し、延岡を舞台とした作品を共に作り上げ、映像祭でグランプリを選定。作品は TikTok で 1000 万回以上再生されたり、「見たことのないロケ地ばかりでとても

新鮮に映る」と他の動画コンペで受賞するなど、シティプロモーションにも貢献した。

[<作品リンク>](#)

準グランプリ 射水ケーブルネットワーク株式会社（北陸支部・富山県）

『人流ビッグデータの活用で地域の見える化を実現！』 <グッドプラクティス部門>



人流分析ツールである『KDDI Location Analyzer』を活用し、地元自治体からの業務委託を受け、様々な人流分析サービスを実施した。

KDDI とパートナー契約を締結し、成果物をエンドユーザーに付加価値として提供する全国初の試み。このようなスキームはケーブル業界に広がりを見せつつあり、ケーブル局の地域貢献として新たな事業を生み出す。

人流分析サービスは継続してウオッチしていく案件が多く、持続的なビジネスモデルになり得る。

[<作品リンク>](#)

準グランプリ 株式会社ケーブルテレビ富山（北陸支部・富山県）

『「ケーブルテレビはテレビだけじゃない！ネットもスマホもケーブルテレビ！」編

ネットもスマホもサクサクキャンペーン』編』 <映像部門>



実写映像とTシャツの中に描かれたイラストを組み合わせ、ダイレクトなメッセージと共にキャッチーなメロディーで顧客への印象を残すことを目指し、2023年9月に第一弾を展開した。本編のほか各登場人物単独の映像も制作してWEBで配信。さらに2024年2月～4月に第2弾「ネットもスマホもサクサクキャンペーン」を実施。春商戦に向けて、具体的なサービス内容を訴求した。

第一弾 CM 放映後、モニターアンケートでターゲット認知率は 31.2%（目標 30%）、エリア内認知率は 33.1%を獲得できた。

[<作品リンク>](#)